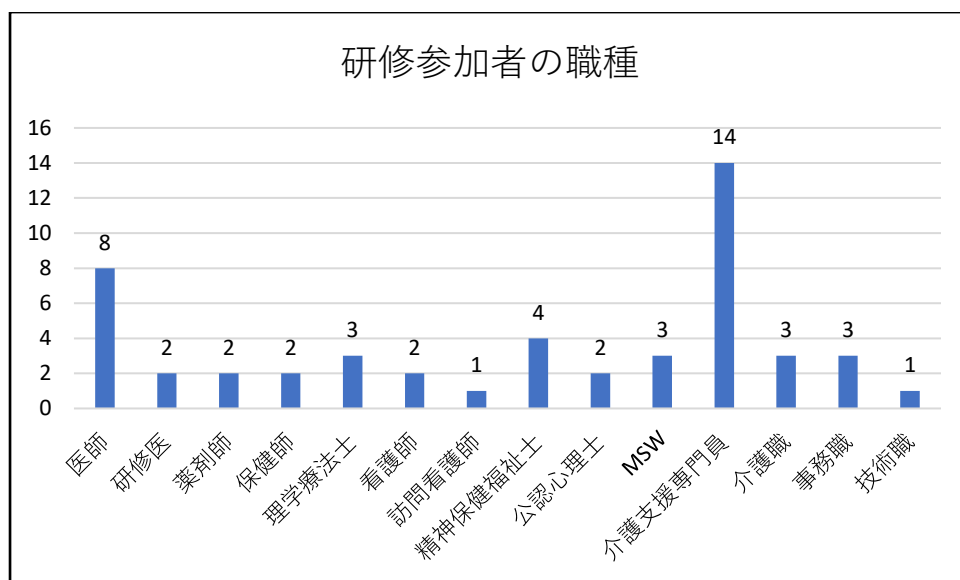
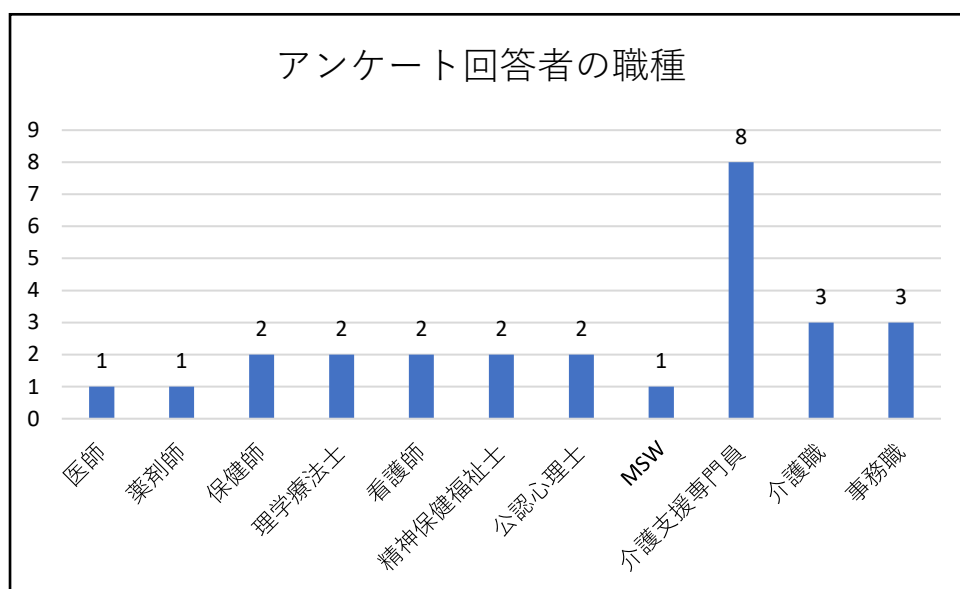


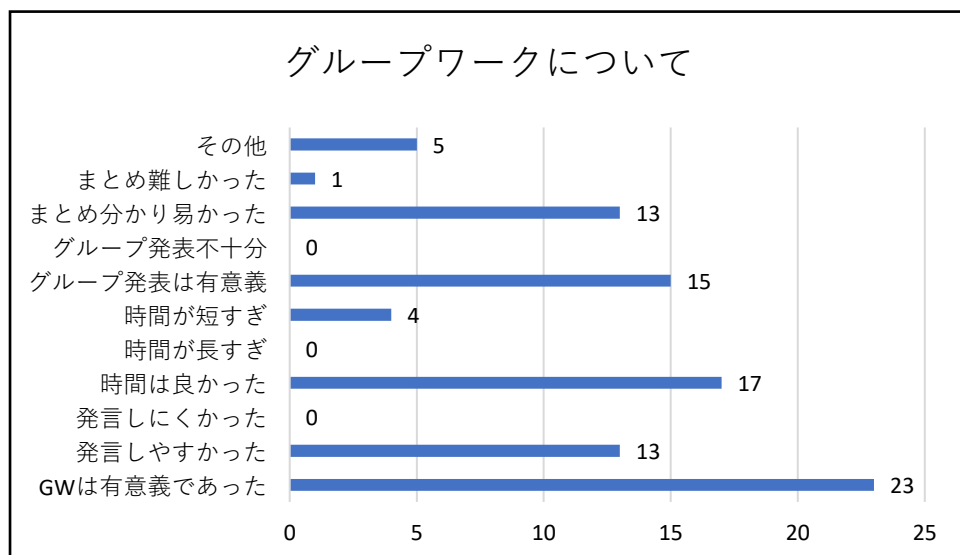
認知症研修会後アンケート集計



1 職種



2 認知症研修会の感想



- 3 認知症の方やその家族について、自分自身や所属事業所・施設で取り組んでいること、力を入れていること**
- ・お話をされていることについては共感する気持ちを持って関わらせていただいています。その上で、必要であればその方が出来そうな方法で支援なり、助言をするよう心掛けています。(介護職)
 - ・多職種、行政と連携し、取り組んでいると思います。(事務職)
 - ・不安等に寄り添い、その方らしく生活できるよう一人一人のことをしっかり理解するよう努力しています。(介護職)
 - ・独居の方、家族が困っている様なケースは、早めに地域包括の SW や PHN へつなぐようにしている。(MSW)
 - ・コロナ禍の中で感染対策を行いながら、患者さんや家族にとってより良い支援は何かを常に考えるようにしている。(公認心理師)
 - ・コロナ禍ではありますが、窓越し面会やオンライン面会に取り組んでいます。本人に触れることができず、悲しまれるご家族もおられますが、こうした場を設けること自体にも意味があると思い、続けています。(精神保健福祉士)
 - ・現状、認知症鑑別のための関わり、または入院された方への関わりしかできていない。初めて認知症と診断された方やそのご家族への心理面へのサポートができていないと考えており、今後はメンタル面へのサポートにも取り組んでいきたいと考えている。(公認心理師)
 - ・何かあった時は認知症の方の気持ちをご家族と一緒に想像して、思いを共有するようにしています。困ったことがあった時に、マイナスに考えないように、可能なら笑いに換えられるようにお話をしています。認知症が、自分たちもなるかもしれない病気と思って仕事をしています。(介護支援専門員)
 - ・事業所間、多職種で共有しながら、支援方法を検討してサポートしています。(介護支援専門員)
 - ・(コロナ禍において)リモートでの面会、ご本人様がイベント等で楽しまれている姿を写真に残し、お便りと一緒に送付する。(精神保健福祉士)
 - ・認知症対策チームがある。研修会に参加する。(PT)
 - ・オンライン面会(PT)
 - ・入院されたら家族やケアマネジャーに認知症の程度、様子を確認する。好きな物や趣味があれば取り入れていく。(看護師)
 - ・認知症を理解するための研修会に参加している。認知症サポーター養成講座へ講師として参加している。(介護支援専門員)
 - ・家族が知りたい情報をお伝えするようにしている。「電話をかけてもらってもいい」と伝えている。医療者の伝えたい情報と、家族の知りたい情報に差があることを皆で理解するようにしている。(看護師)
 - ・できるだけ多職種からの情報を聴き、多職種で対応するようにしている。入院時せん妄リスクが高い人、せん妄を発症した人には、岡大の精神科 Dr にコンサルタントと Web で助言をもらっている。(医師)
 - ・新型コロナウイルス感染予防で面会は中止となっているため、ご家族が洗濯物を取りに来られた際、日常生活の様子、認知症の症状など情報提供している。(介護職)
 - ・オンライン面会、認知症カフェへの誘い(介護支援専門員)
 - ・本人や家族が発信できる場づくり。認知症サポーター、ステップアップ講座の開催。(保健師)
 - ・服薬支援(一包化、他科・他院薬剤合包、お薬カレンダーセットなど)、残薬調整、訪問薬剤管理指導、多職種連携など。(薬剤師)

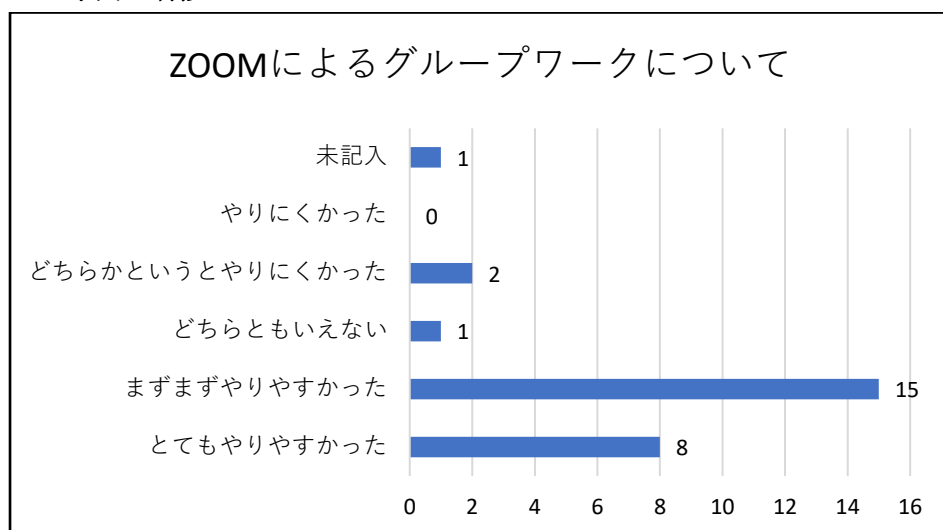
4 認知症の研修会についての要望・提案等

- ・ZOOM だとグループワークに限界がある中、初めてにしてはうまくいったと思います。(事務職)
- ・同じケースについて異なる職種の発表があってもいいと思う。(事務職)
- ・顔を見て対面での研修はまだまだ難しい状況であると思いますが、オンラインであったとしてもこうした研修の場を設けてくださること、大変ありがたく思っております。私はまだ認知症の方に関わり始めて1年も

たっていない身ではありますが、長きにわたり認知症の方に関わってこられた方のお話を聴くことができる研修の機会を大切にしたいです。お忙しい中、今回の研修を開催して下さり心より感謝申し上げます。(精神保健福祉士)

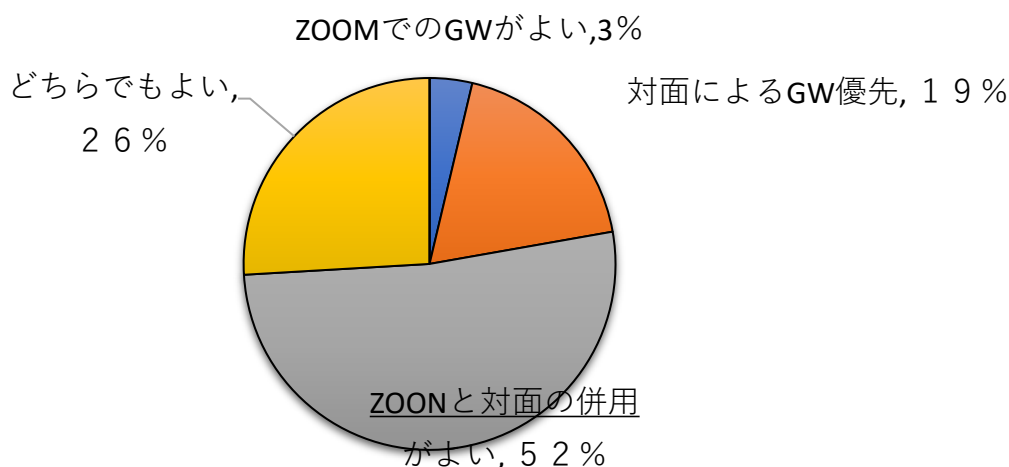
- ・グループワークをするのであれば、ZOOM の熟練度など別の影響も考えられるため、対面式が取り組みやすいと感じました。一方で、Web 開催であれば遠方であったり時間的に参加が難しい方でも、参加しやすいという良い面もあると感じました。可能であればハイブリッド開催ができれば、より多くの人が参加しやすいと思います。(公認心理師)
- ・認知症で入院して、うまく在宅や施設に退院できたケースのポイントなど知りたいです。(介護支援専門員)
- ・今後もグループワーク等で直接話して関わる機会があればいいなと思いました。色んな視点から意見が聞けて良かったです。(介護支援専門員)
- ・また続けてほしいです。(PT)
- ・グループホームのスタッフの取り組み、考えていることなど知りたい。(看護師)
- ・コロナに関連してですが、一人暮らしの認知症の方のコロナ陽性が確認された場合、10 日間の隔離生活をどうしたらよいか悩みました。今回の研修は事業所が閉鎖されたり、面会が制限されたりした場合でしたが、認知症の方本人の陽性が確認された場合、認知症の介護者の陽性が確認された場合、隔離が難しい時どうすればよいのか、皆様で検討してほしいです。(介護支援専門員)
- ・最新情報の研修(看護師)
- ・在宅、施設、病院、それぞれの立場から率直な意見交換ができればありがたいです。(医師)
- ・認知症の症状がかなり進んでいる方の対応について(独居、家族が遠方にいる) (介護支援専門員)
- ・各専門職が本人や家族と関わる中で把握している課題や問題点を知りたい。その課題や問題点について、「～になったらいいなあ」と思っていること。(保健師)
- ・多職種の意見も聴けて、色々な視点を持つことができて良かったです。(薬剤師)

5 今回の研修での ZOOM によるグループワークについて



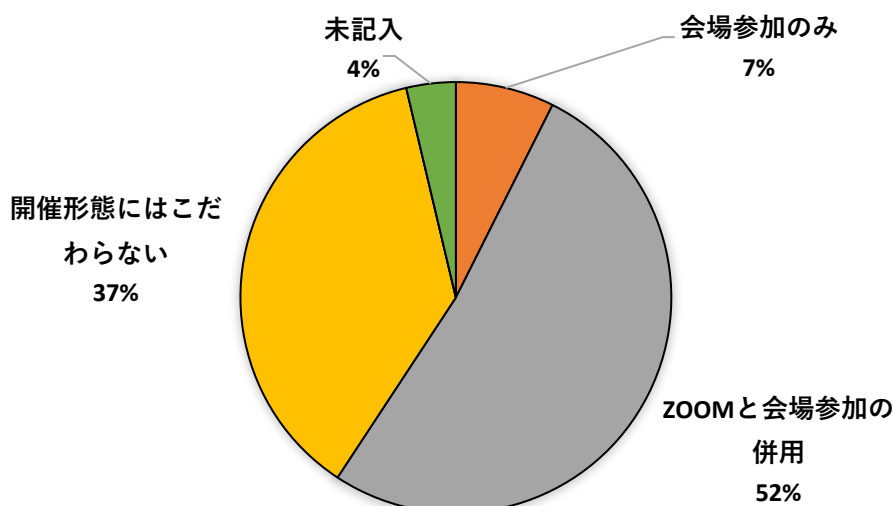
6 今後、コロナ禍が落ち着いた時期でのグループワークについて

コロナが落ち着いた後のGWはどうしていけばよい と思うか



7 今後、コロナ禍が落ち着いた時期での研修会の開催形態について

コロナが落ち着いた後の研修会形態について



※今回の研修会では、様々な都合により「研修会には参加したいが、グループワークには参加できない」という方がいらっしゃいました。主催者側としては、他の方々がグループワークをしている時に、手持無沙汰であったり、疎外感のようなものを感じたりされなかったか心配でしたので、お一人の方にお尋ねしてみました。そのお答えの一部をご紹介します。

グループワークの中には入れなかったが、参加して良かったと感じています。疎外感がないと言えましょうになりますが、まったく参加できないよりは、皆様の顔が見られただけでもほっとしました。内容は結構理解できたのではないかと思います。また、実際にグループワークに参加していたとしても、途中に来客があったので中途半端な参加になったと思います。コロナによる制限が皆様の仕事に直接迫っていて、何とかしたいができないもどかしさ、少しでも何とかしようという創意工夫がわかって良かったです。

※お忙しい中アンケートにお答えくださり、ありがとうございました。

皆様からのご意見は、今後の研修会に役立ててまいります。